

複合動詞「V1-あげる」「V1-あがる」のアスペクト用法における 自他対応についての一考察

南 明世

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

cluster358@yahoo.co.jp

1. はじめに

日本語の複合動詞「V1-あげる」「V1-あがる」には「書きあげる」や「晴れあがる」など動作の完了・完遂を表すアスペクト用法がある。これらの用法は必ずしも自他対応するわけではなく、(1)のように自他対応するものもあれば、(2)のように自他対応しにくいものがある。

- (1) a. 連続小説を書きあげる。
- b. 連続小説が書きあがる。
- (2) a. *空を晴れあげる。
- b. 空が晴れあがる。

そのため、自他の対応関係をはっきりする必要がある。本研究は「V1-あげる」「V1-あがる」がもつアスペクト用法において、自他対応の成立条件を明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究

姫野(1976)は「V1-あげる」「V1-あがる」の完了の用法をそれぞれ次の3つに分類した。

表1. 姫野(1976)における「V1-あげる」「V1-あがる」の意味対応

| 「～あがる」「～あげる」が担う意味 | 「V1-あがる」の例 | 「V1-あげる」の例 |
|-------------------|------------|------------|
| ①完成品をともなう作業活動の完了 | 織りあがる | 織りあげる |
| ②行為の完了 | — | 調べあがる |
| ③自然現象の完了 | 晴れあがる | — |

姫野(1976)は自他対応するのは①完成品をともなう作業活動の完了であり、「V1-あげる」「V1-あがる」両方とも目的語に「材料と生産物」「素材と作品」の関係が見られる名詞がくると述べている。②行為の完了は「V1-あげる」しか見られず、ひとまとまりの対象物を～つくす意味だと述べている。反対に③自然現象の完了は「V1-あがる」にしか見られずV1の状態がすっかり表

複合動詞「V1-あげる」「V1-あがる」のアスペクト用法における自他対応についての一考察

れる意味を表すと述べている。しかし、②行為の完了の意味を持つ(3)のような用法でも自他対応するものがあるため、考察の余地がある。

- (3) a. 一週間分の洗濯物を洗いあげる。
- b. 一週間分の洗濯物が洗いあがる。

影山(2013)はアスペクト補助動詞として「V1-あげる」「V1-あがる」が使われる場合、(4)のようなものは「単に事象が完了しただけでなく、完了した事象の直接の結果として何らかの産物(自動詞の主語として現れる名詞)が発生することを意味している」と述べ、自動詞が見られると指摘している。

- (4) a. セーターを編みあげた。
- b. セーターが編みあがった。

一方、他動詞文が存在し、自動詞文が存在しないものとして(5)をあげ、「これらの他動詞文は、達成事象を表すから、完了の「～上がる」は成立するが、結果の産物ではないから自動詞文は成立しない」と述べている。

- (5) a. 最後まで歌い上げた。
- b. *最後まで歌い上がった。

しかし、(6)「鍛えあげる」や(7)「縛りあげる」など結果の産物があるにも関わらず自動詞になりにくいものがある。

- (6) a. 体を鍛えあげる。
- b. ?体が鍛えあがる。
- (7) a. 荷物を縛り上げる。
- b. ?荷物が縛りあがる。

また、「晴れあがる」のように自動詞があり他動詞がないものについては考察されていない。

- (8) a. 空が晴れあがる。
- b. *空を晴れあげる。

本研究では「完了」の意味においてどのような場合に自他対応し、どのような場合に自他対応しないのかについて考察していく。

2. 考察

自他対応するもの：編みあげる－編みあがる、煎りあげる－煎りあがる、仕あげる－仕あがる
炊きあげる－炊きあがる、干しあげる－干しあがる…

「V1-あげる」「V1-あがる」の完了はレベルが一つ上に行くことで完了を表すものであり、(9)の「編みあげる」のように糸からマフラーへと質的变化が行われる。従って、単なる終了である「～おわる」とは異なり、結果である完成物である「マフラー」が必要になる。

- (9) a. マフラーを編みあげる。
b. マフラーが編みあがる。

また、「縛りあげる」は V1 の行為の前後で行為の質が高まる(10)の用法では自他対応しないが、(11)のように完成物が想起しやすい場合に自他対応する。従って、自他対応条件としての完成物有無とは行為の変化が一見してわかる必要がある。

- (10) a. 荷物を縛りあげる。
b. ?荷物が縛りあがる。
(11) (帯を)結構きつめに縛ります。縛りあがるとこんな感じです。

(http://kimono.nagasaki.jp/ninpul/kazariobi_kihon)

自他対応しないものについては「V1-あげる」のみあるもの、「V1-あがる」のみあるものがある。「V1-あげる」があり、自動詞にならないものは以下のものである。

「V1-あげる」：洗いあげる、(アイドルに)入れあげる、(声高々に)歌いあげる、おだてあげる、脅しあげる、浚いあげる、鍛えあげる、しごきあげる、縛りあげる、しぼりあげる、しめあげる、叩きあげる、つねりあげる、怒鳴りあげる、(声を)張りあげる、褒めあげる、むせびあげる、読みあげる…

まず、「V1-あげる」の他動詞のみあり、自動詞にならないものについては V1 の動作が極限の状態まで行われ、行為の質が高まることといった、極度や強調の意味で表すものが多い。質の変化が明確である必要がある。また、(12)「歌いあげる」は完成物もなく、変化の質も明確ではないが、自他対応しやすいものがある。

(12) メドレー形式で一気に歌いあがる。

(<http://www.h7.dion.ne.jp/~musiclab/live/LLP9.htm>)

これは完了の仕方の違いに影響されていると考えられる。「歌いあげた」は(13)のように10曲という量の完了、最後までしっかりと歌うという質の完了、声高々にという行為の極度の3つの意味で解釈できる。自動詞に変えた場合成り立つのはbであり、質的に1曲をしっかりと歌ったという完了を表している。

- (13) a. 10曲を(歌いあげた/*歌いあがった)。 (量的に完了)
b. 最後まで(歌いあげた/?歌いあがった)。 (質的に完了)
c. 声高々に(歌いあげた/*歌いあがった)。 (極度・強調)

次に「V1-あがる」が「V1-あげる」に他動詞化しないものは次のものがある。

「V1-あがる」: 怯えあがる、思いあがる、竦みあがる、縮みあがる、のぼせあがる、震えあがる、
燃えあがる、萌えあがる、晴れあがる、干あがる…

これらは、(14)のように二格のものであり対象を必要としない、感情的な質の変化を表すため、他動詞がないと考えられる。

(14) 恐怖に竦みあがる。

3. まとめ

自他対応しやすい条件をまとめると次のとおりである。

- ①V1の動作によって完成物がみられるもの
- ②質的な完成であるもの
- ③質の変化が明白であるもの
- ④対象をもつもの

参考文献

- 影山太郎(2013)「語彙的複合動詞の新体系—その理論的・応用的意味合い—」『複合動詞の最先端 謎の解明に向けて』, pp3-46, ひつじ書房
- 姫野昌子(1976)「複合動詞・「～あがる」, 「～あげる」および下降を表す複合動詞類」『日本語学校論集』3号, pp. 91-121, 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校